

令和3年度第2回富里市立図書館協議会書面開催の意見

令和3年度第2回富里市立図書館協議会会議にて、協議事項における事務局案の可否等について回答を依頼したところ、下記のとおり回答を得た。

いただいた意見等については、今後の図書館事業の運営方針の参考といたします。

協議事項（1）令和4年度とみさと教育プラン（案）について

■事務局案の可否について 可：9名 不可：0名

■協議事項（1）について寄せられた個別意見等

図書館事業の充実ないし社会教育施設の整備のいずれかに、生涯学習機能（文化・芸術）を融合した複合施設として機能強化に係る項目を追加してはどうか。

（例）文化芸術の育成：図書館内に定期的な展示企画スペースを確保し、文化芸術の振興に寄与する。

書面開催の際は、議案の趣旨や内容の説明資料が必要と感じる。

「親子読書支援コンシェルジュの配置」は新規事業と思うが、どのような人員を配置し、何をやるのか具体的なプランを情報として積極的に発信いただきたい。

親子読書支援コンシェルジュの配置とあるが、業務を担う人員は図書館職員となるのか伺いたい。

図書館の適正な維持管理として5件の修繕を行うとあるが、こういった内容の修繕を行う予定なのか伺いたい。

図書館からの定期便で絵本を借受け、活用している。

施設で所蔵のない絵本や新刊資料等、とても助かっているため今後も継続願いたい。

原案どおりで良いと思う。

親子読書支援コンシェルジュについて、初めて知ることができた。

他に図書館の取り組みとして期待したいこととして、図書館までの距離が離れており、図書館に行くことが難しい子どもたちのために、学校の図書室で図書館の本が読めるようになると良いと思う。

保護者が読みたい本を子どもが借りて、親子で感想を話し合うといったことも期待できるので、子どもに読んで欲しい本以外に、子ども自身が読みたいと思える本があると良いのではないかな。

協議事項（２）令和４年度富里市立図書館蔵書計画（案）について

■事務局案の可否について 可：９名 不可：０名

■協議事項（２）について寄せられた個別意見等

財政状況が厳しい中であるが公立図書館の役割として、利用者の新刊図書購入希望に応えるためにも、資料購入費の増額に尽力願いたい。

「新たな情報・文化・芸術の発信拠点」として、市民の主体的な学びや活動の推進に必要な資料・情報を整備する必要がある。

特に、「とみさと」に関する様々な情報（行政情報含む）を積極的に収集し、市民はもとより広く世界へ発信していくイメージが欲しい。

オンラインで図書館・図書室が連携し、レファレンスサービスの充実と、所有していない本のやり取りを行い、かつ当該の対応について周知していくことが良いと考える。

本市の厳しい財政状況を鑑みると、資料購入については致し方ない。
特に異議はない。

少ない予算の中、ニーズに合わせた図書購入計画が必要であることを承知しているが、視聴覚教材のVHS資料を同内容のDVD資料に買替願いたい。

学習系の漫画も多く出版されているので収集してはどうか。
歴史漫画以外でも、多くのジャンルで多数出版されているので、検討してはどうか。

厳しい予算状況であるが、利用者のニーズに対応した図書購入をお願いしたい。

協議事項（３） 浩養小学校市民図書室について

■ 回答（ア） 5名 回答（イ） 0名 回答（ウ） 4名

■ 協議事項（３）について寄せられた個別意見等

富里市南部のサービスポイントとしては残しつつ、直営から施設運営を含めて、地域サロンのような要素を含んだ機能を持たせたコミュニティ施設として民間又はNPO組織に運営を委託してはどうか。

アンケートの数値を踏まえ、閉鎖も仕方ないを考える。

閉鎖はやむなしと思うが、これを機会に市内全域のアウトリーチサービスについて検討し、図書館機能の向上につなげていく必要がある。

以前、浩養小学校地区住民による座談会にて、「市民図書室の利用が減っている」「市民図書室を地域の交流の場として活用できるのでは」といった内容の話があり、浩養地区の魅力のひとつとして市民図書室の有効利用を進めるにあたり、以下のような取り組みをしてはどうかといった意見が提示された。

- ・ 市民図書室の案内の回覧
- ・ 図書室において欲しい資料や開館日時の調査
- ・ 交流の場として、図書室での定期的なイベント開催

交通弱者に対応するため、決められた曜日に車両型の移動図書館を派遣する等の代替案を講じてはどうか。

浩養小学校の実態に応じた施設の有効活用を検討していただきたい。

（例） 特殊支援学級

可能であれば移転を検討願いたい。

機能を本館に集約するのではなく、人口密度の高い地域に市民図書室を移してはどうか。

報告事項（１）魅力ある市立図書館の今後の在り方について

■報告事項（１）の意見等

魅力ある図書館へと検討することには賛成である。

ただし、検討プロセスは利用者（市民）や有識者が参加したものであることが望ましいと思われる。

また、本計画の『新たな魅力ある施設（イメージ）』頁の生涯額学習機能として、『自学の推進（自習スペースの活用）』を含めていただけないか。

動画での非営利活動は、著作権の制限も厳しくないと思う。

ボランティアによる絵本の読み聞かせを定期的に発信できないか。

新たな発信拠点のイメージは、今後を期待させるものである。

ただ、在り方策定に至るプロセスとして、庁内プロジェクト職員以外に市民などステークホルダーの参画が見られないことは気にかかる。

原案どおりで良いと思う。

資料の陳列方法やレイアウトを変えるだけでも、本に興味を持つ機会が増えると思うので、企画展示を増やし、アピールしてはどうか。

ツイッターで新着図書の写真を掲載するのは大変効果的だと思うので継続願いたい。

魅力ある外観、建物構造を活かしていただきたい。

幼児期から読書に親しむ機会を充実させるために、落ち着いて読書できるような環境の整備をお願いしたい。

市民の図書館離れが加速化しており、その現状を踏まえ新たな事業展開を示す時期が来ていること等、理解できた。

図書館の新たな魅力ある施設を目指すとあり、そのイメージも資料から伝わってくる。

庁内プロジェクト会議で引き続き検討するとあるので、イメージどおりの

施設になることを期待している。

報告事項（２）図書館利用者アンケートの集計結果について

■ 報告事項（２）の意見等

アンケートの実施、集計、分析に要する労力は膨大であるが、図書館事業の基礎となる資料であると思うので引き続き継続願いたい。

たくさんの回答が見られて勉強になったので、ありがたい。
集計作業もお疲れさまでしたと言いたい。

年に数回程度しか利用しない市民等からの意見を聞いたことは意義あることで、利用頻度別の意見の分析等して、今後活かしていただきたい。

「古い本が多い、新しい本を」との意見が多く見られ、住民一人あたりの蔵書冊数が多いため既存図書の活用を図るというだけでは、市民等との認識にズレを感じる。

感染対策、安全な利用環境を求める声が多いように見受けられる。

可能な限り要望に応じ、安心・安全な図書館であることをアピールすることが必要である。

図書館の総合的な評価は、やや満足まで含めて60%を超えるとある。

本市図書館の努力の賜物であるように思う。

利用したことがない回答者の意見は貴重だと思うので、今後の図書館運営に反映していただきたい。

また、図書館内のスペース活用にある小中学生の作品展示は、鑑賞目的での来館が望めるものであり、図書館に足を運ぶきっかけになるように思う。

壁面のスプレーアート、公開後しばらく多くの人で溢れ良かったと思う。

アンケートで利用者のニーズを知ることは大切であると感じた。

アンケートの集計結果を、魅力ある市立図書館の運営に活かしていただきたい。